

3 - 5 簡易分析の方法

簡単にできる分析方法としては以下のものがある。異物により適切に選択して分析を行う。

- 刃物（カッターやカミソリ等）による切断、挿入切断、挿入：有機物か無機物か
- 水との反応：軟化、膨潤するか、変化はあるか
- カタラーゼ試験：加熱の有無
 - ＊カタラーゼは、熱以外にも、経過時間や保管条件（アルコール、pH など）によって、カタラーゼ失活する場合がある。
- 燃焼試験：臭い、燃え方など
 - ＊消失もあるため、機器分析等に必要量確保した後、他の分析操作後に行う。
 - ＊付着物の状況によって燃焼性や臭いに変化することがある。
- 比重判定試験：樹脂の種類
- 金属探知機、X線検査装置の応答：有機物か無機物か
- 磁性：鉄、コバルト、ニッケルなどの金属、砂鉄や磁鉄鉱など
- 呈色反応：ヨウ素でんぷん反応、ニンヒドリン反応など
- 塩酸による発泡性：歯、骨、貝殻、石灰岩、コンクリートなどの炭酸塩を含むもの